



http://www
.ab.cyberhome
.ne.jp/~nakanohp/

日本共産党市議会議員 中野あきと・事務所ニュース

みどりと清流

中野あきと事務所

〒191-0041 日野市南平7-6-72

TEL・FAX 042-599-3350

発行責任者 小林 進

第100号

2010年

6月発行

しん ぶん 赤旗

日刊紙1ヶ月 2900円

日曜版1ヶ月 800円

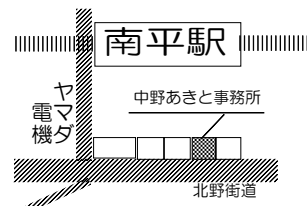
お申し込み 党南多摩事務所

TEL 042-374-4384

または中野事務所へ

法律・生活相談など

お気軽にお立ち寄り下さい



何とかして！保育所不足

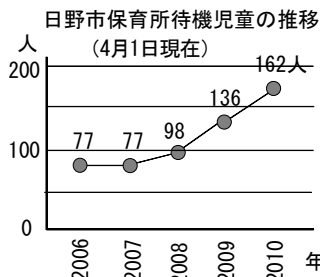
党市議団が市長に増設を申し入れ

日本共産党市議団は先月、深刻な待機児童の増加に市が正面から向き合い、認可保育所の抜本的な増設を行うよう馬場市長に申し入れをおこないました。

入所を申し込んでも認可保育所にも認証保育所（非認可保育所）にも入れない待機児童が、4月1日現在、市内で162名にのぼることがわかりました。この4月からは新たに認可保育所2園（定員126名）が開設されましたが、申し込みがそれを上回ったために、昨年4月1日の待機児童139名よりもさらに増加したことになります。

年齢別では0歳児23名、1歳児60名、2歳児56名、3歳児18名、4歳児5名、5歳児0名となっており、0歳〜2歳の低年齢児が待機児童の86%を占めています。市の待機児童の解消対策は「やがて子ども人口は減少するのだから」と、後手後手になってき

実態に追いつかない計画は見直しを



この3月策定の「ひのつ子すくすくプラン（後期計画）」でも、2010年度から2014年度の期間の定員増は、認可、認証などあわせて276名の計画です。今年度すでに126名の定員増が行われていますから、残る4年間で増やす定員は150名です。つくったばかりの計画で、この4月の待機児童数さえ満たせないのではお話になりません。

待機児童数は年度末には2倍〜3倍にふくれあがります。既存の保育所への定員オーバーの詰め込みも限界になっていきます。

消えてしまった公民館

などの建て替え計画

2005年に、老朽化した中央公民館や中央福祉センターなどを建て替える基本計画、基本構想が策定されましたが「市民の森ふれあいホール」建設計画が浮上するとともに、これらの計画はストップしてしまいました。第三次行革大綱では、あらためて計画を練り直し、2008年度には公民館等の建て替え基本計画を策定するとされました。ところがこれも立ち消えとなりました。

公民館の利用者に市は、「市民の森ふれあいホールの中に公民館的機能を確保する」「集会所の一部をそれにあてる」と説明しています。しかし、その内容を質問しても「検討中」と答えるばかりで、定かな回答は得られません。

市の既存施設は老朽化が目立ちますが、「市民の森ふれあいホール」の建設を最優先ですすめるその一方で、決められていた建て替え計画すら立ち消えでは、市民の理解は得られないのではないのでしょうか。

「みどりと清流」100号を迎えて

2001年10月、「中野あきと事務所」開設と共に第1号を発行。トップ記事は、住民には不意打ちの「南部医療施設用地」の処分計画でした。以来「情報をありのまま伝える」「見解の押し付けはさける」をモットーに、今年で10年になろうとしています。

毎月読んでいただく方も10倍以上となりました。今後ともよろしくお願い致します。

(編集部)

短信

「そんなことが…」再選されたリンカーンにマルクスは心をこめ祝意の書簡を送り、リンカーンも礼状を返した。志位さんが紹介する19世紀の大西洋をはさんだ交流。党の創設者のエピソードに共和党の議員は驚きます▼5月初旬、日本共産党の志位委員長は核不拡散条約再検討会議に出席のためニューヨークに。ワシントンではアメリカ政府とも会談し、いま、焦点となっている沖縄普天間基地撤去の問題で沖縄県民の一致した意思を伝え、解決の道は移設条件なしの撤去、「無条件撤去」しかないことを指摘しました▼残念ながらこのことをアメリカまで行つて伝えた日本の政治家は、政府にも与野党にもいみせませんでした。見解が違う両者の会談は、ときには激論にもなつたそうです。しかし「有意義だ。これからも続けよう」と先方が表明します▼「例え意見が違ってもハッキリものを言うことが大事」相手の気持ちを付度して意見を言わないのは一番悪い。志位さんの感想です。鳩山さんの「私を信じて」は最悪の意思表示でした。もう、後戻りのない沖縄の意志。両政府は認識すべきです。(K)

平山6丁目の生コン工場問題

「決定的な権限をもつ日野市の責任は重い」

平山6丁目で、20年間にわたって建築基準法違反の生コン工場が操業を続け、近隣住民は騒音・振動・粉塵などの深刻な被害に悩まされ続けています。

なぜこういつた事態が長期にわたって続いてきたのか、歴史的な経過や背景、法律上の問題点など全体像を明らかにしながら、違法建築物に対して強力な是正権限をもつ特定行政庁・日野市長のこれまでの対応と責任を厳しく追及今後へ向けた断固とした対応を求めました。

市は、この生コン工場が、
(1) 建築基準法違反
(2) 騒音規制法違反
(3) 東京都環境確保条例違反
(4) 東京都建築安全条例違反と4つの法律・条例に違反している事実を認める一方で、
● 違反建築物としての違反事実の調査・確認作業さえ行なっておらず ● 是正指導も口頭による指導のみで、本来行なうべき文書による勧告はまったく行なっていないことなど、日野市の対応のずさんさ

が明らかになりました。

最後に答弁にたった市長は、「中野議員から住民の置かれている実態、法令違反、約束違反の実情について伺い、さらに厳しい対応をしなければならぬ」と認識したところ」「しかし、業者も住民、公平に判断し、対応しなければならぬ」「これまでの対応が弱かったことは認める」「あと3年のうちに移転先を決めるという約束が守られるようしっかりと対応していきたい」と答弁しました。

私は、「業者も住民と言われたが、法令違反を行なっているのはいったい誰なのか、その犠牲を受けているのは誰なのか。市長の基本認識が問われる」。

「同じような事例で、厳しい対応を迫り、8ヶ月での移転用地確保を条件に設定し実現させたさいたま市の例もある。早期全面解決へ日野市長の立場が問われている。決断・決意を強く求める」と結びました。

中野あきと

「ふれあいホール」のまえに道路や施設の改修を

●ボイラーの故障で使えなくなっている中央福祉センターのお風呂。湯沢センターでも老朽化が進み、排煙装置が故障するなど利用者の安全面からも改修が急がれていました。党市議団の質問に市は「実態を調べて改修する」と答弁。中央福祉センターについては風呂の改修予算がつけました。

●生活保健センターの温水プールは、ボイラーの故障で半年間も利用できなくなっています。ところが市は、新年度予算に改修経費を計上せず廃止するか改修するかを引き続き検討したい」としています。

●市内の道路は各所で老朽化がすすみ、破損箇所を仮改修で繕うなど、まさにパッチワーク状態です。

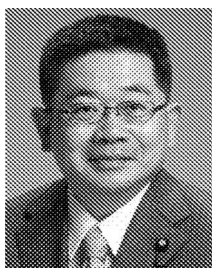
日野市の性質別決算額でみた「維持補修費」が2000年度から2008年度の9年間で、一般会計決算額に占める割合が1.3%から0.6%に減少、額でも約6億円から3億円の半減しています。

道路だけでなく公共施設をこまめに改修し大切に使うことは、大がかりな改修や新設よりも、結局、財政負担は軽くなるはず。また、小規模改修は、地元の中小業者の仕事となり、地域経済にも貢献します。道路や公共施設の計画的な改修と、予算配分が必要なのではないでしょうか。

《10年7月の無料法律相談》

市役所6階 共産党控室 午後1時～3時
7月8日(木)

※予約が必要ですので、お申し込み下さい。
中野あきと事務所 TEL 042-599-3350



こんにちは
小池あきらです
東京から国政へ

日本共産党参議院議員

内科医で東京生まれです

特徴ある丸顔にメガネ。「あっ、この人知っている」「よくみる顔だねえ」小池あきらさんを顔から知る人は多い。

NHKの「日曜討論」、民報の「サンデープロジェクト」「サタデーズバツ」など、テレビ出演は年間70回以上。

参議院議員・党政策委員長、文字通り党の顔です。

安保の年、1960年6月の世田谷区生まれ。ひばりヶ丘団地、中野区、武蔵野市で育ち、筑波大付属駒場高校を卒業後、東北大学医学部へ。学生自治会の運動で奔走します。

1987年に研修医として板橋区にある小豆沢病院勤務に始まり甲府共立病院、北区にある北病院、渋谷区の代々木病院で医師として働きました。専門は消化器内科です。

小池あきらさんの話しはわかりやすいと評判。先日の高幡不動駅前での街頭演説でも、そんな感想が寄せられました。歯切れのよさに加え、めんどくさい政治の話を簡潔に話します。

75歳からの差別医療を65歳からに引き下げる民主党政府の「新たな」高齢者医療制度を「うば捨て山の入山年齢を引き下げるトンデモナイ改悪」と、元「落研」(落語研究会)らしく誰にでも分かってもらえるように指摘します。比例区でたたかってきた小池さんは、生まれ育った東京でと、あえて大激戦の東京選挙区に移りました。

「皆さん。昨年、国民の手によって自公政治が退陣し緊急手術は成功しました。しかし、どうも術後の経過が思わしくありません。私を三たび国会に送り出していただき、その治療に当たらせて下さい」と、東京中を奔走し訴え続けています。